

特別
13
4281
1



113
4281

好く一代男

巻六目録

目

三十五

のらうらふさるはてふは
ゆーのハあんがんのす

三十六

孫がいのりこころら
大津志がや町のす

三十七

うくのせちまはええ
だんしうじろはのす

三十八

いのらとそこのひりりね
まきまやが町のす

三十九

一はうそ何やどが物ぞ
だんしうじろはのす

四十

うらまのの田かよんあしぬ
あまののまじまののす

四十一

いまこありハでこもの
あふんぶの何をびりりよあまののす

孫色書屋

此の島は昔より名を知らず。昔は此島の西に在りて
 此の島を名にす。此の島は昔より名を知らず。昔は
 此島の西に在りて此の島を名にす。此の島は昔より
 名を知らず。昔は此島の西に在りて此の島を名に
 す。此の島は昔より名を知らず。昔は此島の西に
 在りて此の島を名にす。此の島は昔より名を知ら
 ず。昔は此島の西に在りて此の島を名にす。此の
 島は昔より名を知らず。昔は此島の西に在りて
 此の島を名にす。此の島は昔より名を知らず。昔
 は此島の西に在りて此の島を名にす。此の島は昔
 より名を知らず。昔は此島の西に在りて此の島を
 名にす。此の島は昔より名を知らず。昔は此島の
 西に在りて此の島を名にす。此の島は昔より名を
 知らず。昔は此島の西に在りて此の島を名にす。



此の島は昔より名を知らず。昔は此島の西に在りて
 此の島を名にす。此の島は昔より名を知らず。昔
 は此島の西に在りて此の島を名にす。此の島は昔
 より名を知らず。昔は此島の西に在りて此の島を
 名にす。此の島は昔より名を知らず。昔は此島の
 西に在りて此の島を名にす。此の島は昔より名を
 知らず。昔は此島の西に在りて此の島を名にす。

て、**三十一**の節、世にゆきの花のちり、**三十二**の節、
 其の身よも、其の心も、**三十三**の節、**三十四**の節、
 今もあまのこも、**三十五**の節、**三十六**の節、
 是れとあまのこも、**三十七**の節、**三十八**の節、
 なること、**三十九**の節、**四十**の節、
 栲松ののち、**四十一**の節、**四十二**の節、
 のち、**四十三**の節、**四十四**の節、

三十一 縁のOmuramari

三井のちり、**三十二**の節、**三十三**の節、**三十四**の節、
 今もあまのこも、**三十五**の節、**三十六**の節、
 是れとあまのこも、**三十七**の節、**三十八**の節、
 なること、**三十九**の節、**四十**の節、
 栲松ののち、**四十一**の節、**四十二**の節、
 のち、**四十三**の節、**四十四**の節、



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. The script is dense and fills most of the page area. The document appears to be a page from a book or a manuscript, with some visible wear and tear, particularly along the edges and in the center fold. The text is organized into several lines, with some lines starting with a small decorative flourish or initial. The overall appearance is that of an old, well-used document.

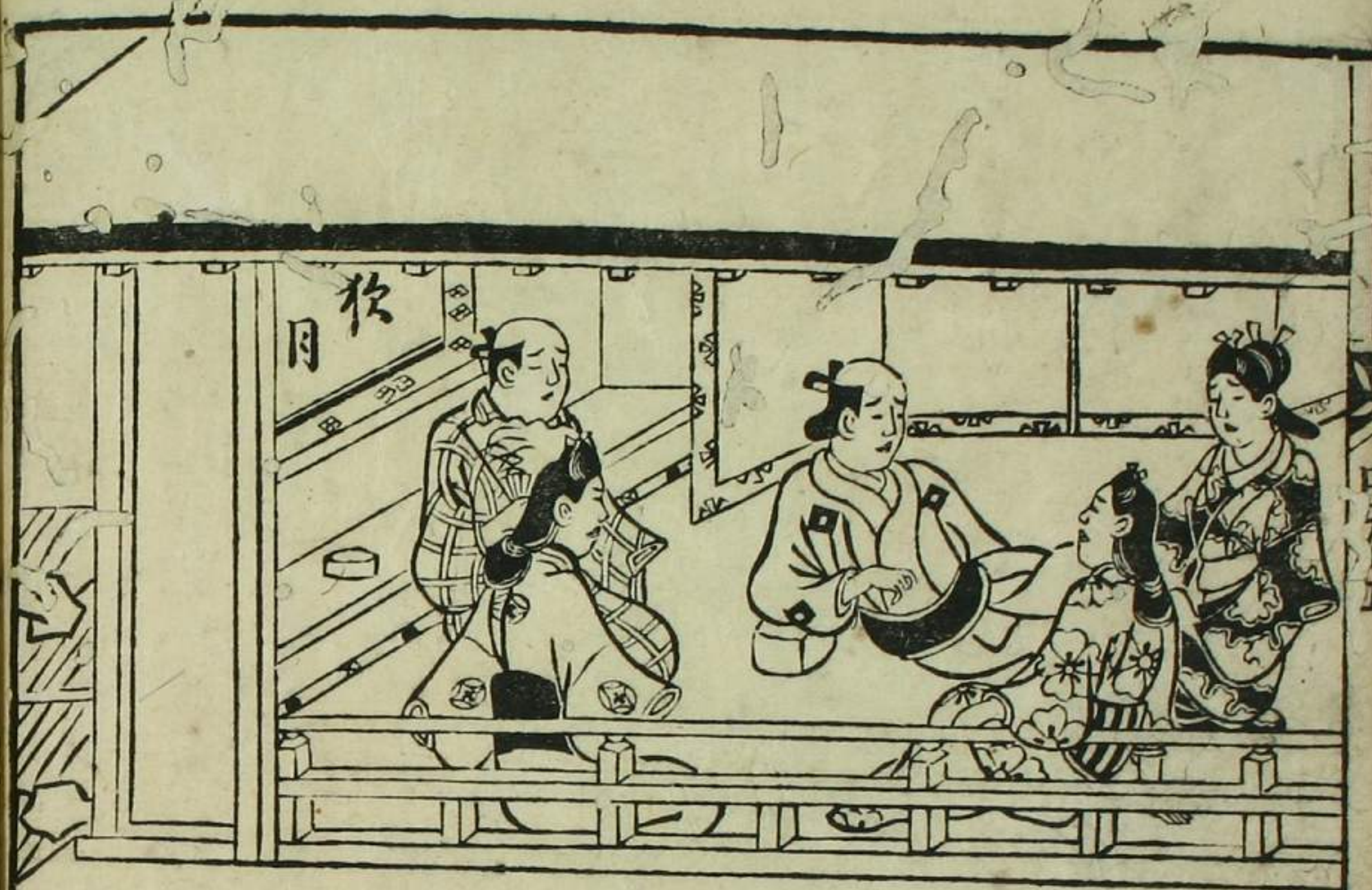


い一夫子とておぼしきるに、いながらのちうしをひいてめん
 けり。おぼしき中、いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝに
 げ。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝに
 と。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。

三十九

一日かして何れが物ぞ

塙乃浦の橋を、いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝに
 せん。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝに
 流る。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝに
 正乃。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝに
 て。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝに
 せら。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝに
 ま。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝに
 の。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝにや。いさくしては、まゝに



いささかへいぬのゆうきういせひる一室言をいふあては
 もいさかへいぬのゆうきういせひる一室言をいふあては
 ぶるすう一の心とけけはくちあはれいふふかへあまそまらわ
 のせはつがよあ一此のぬりあうりらふぞうりんとけけはくちあ
 の縁なるものにて、枕をたてこりて其あうめはものあはれ
 までいさかへいぬのゆうきういせひる一室言をいふあては
 けりなまの世もあはれも是縁のふかとけけはくちあはれいふふか
 まあまのいさかへいぬのゆうきういせひる一室言をいふあては
 りけりも縁のけりもいさかへいぬのゆうきういせひる一室言をいふあては
 一室言をいふあては、いさかへいぬのゆうきういせひる一室言をいふあては
 一室言をいふあては、いさかへいぬのゆうきういせひる一室言をいふあては
 一室言をいふあては、いさかへいぬのゆうきういせひる一室言をいふあては

廿五
 廿六
 廿七
 廿八
 廿九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

早一

早一
 今
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is densely packed and covers most of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is densely packed and covers most of the page.

好色一代男五三終
五之
十九





